



*Sophia University*

## 英語で習得・考察・協働・遂行するグローバル教育の取り組み

吉田研作

yosida-k@sophia.ac.jp

<http://pweb.sophia.ac.jp/1974ky>

## 国として英語教育をどう考えるか

## グローバル人材育成推進会議 のまとめ

我が国がこれからのグローバル化した世界の経済・社会の中にあって育成・活用していくべき「グローバル人材」の概念を整理すると、概ね、以下のような要素が含まれるものと考えられる。

要素Ⅰ：語学力・コミュニケーション能力

要素Ⅱ：主体性・積極性、チャレンジ精神、協調性・柔軟性、責任感・使命感

要素Ⅲ：異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティー

グローバル人材の能力水準の目安を(初歩から上級まで)段階別に示すと、例えば、以下のようなものが考えられる。

- ① 海外旅行会話レベル
- ② 日常生活会話レベル
- ③ 業務上の文書・会話レベル
- ④ 二者間折衝・交渉レベル
- ⑤ 多数者間折衝・交渉レベル

目指すは  
Multilingual か Plurilingual か

「いくら頑張っても帰国子女には勝てない」

# アメリカの考え方・ヨーロッパの考え方

アメリカ

**Multilingualism (bilingualism):**

いくつもの「母語」が存在する状態(個人の中にも、社会の中にも) (Bilingualismも基本的に同じ概念)

移民の人は、日常生活から仕事、教育のあらゆる場面で英語ができなければ生きていけない

ヨーロッパ

**Plurilingualism:**

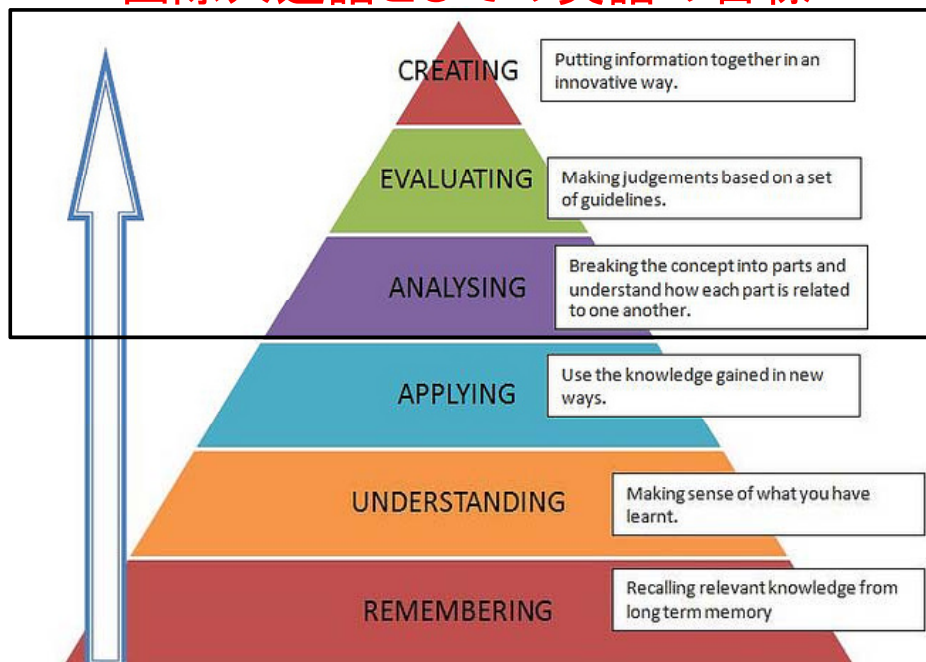
一個人の中に、その個人の必要性にあった言語力が存在する状態

ヨーロッパでは、仕事や教育に主に外国語が必要(英語を含め)



Coste, Moore & Zarate (2009) ) Plurilingual and Pluricultural Competence. Council of Europe, Language Policy Unit

## 国際共通語としての英語の目標



(Anderson & Krathwohl, 2001)

国際共通語として英語力向上のための5つの提言と具体的施策の報告書から:

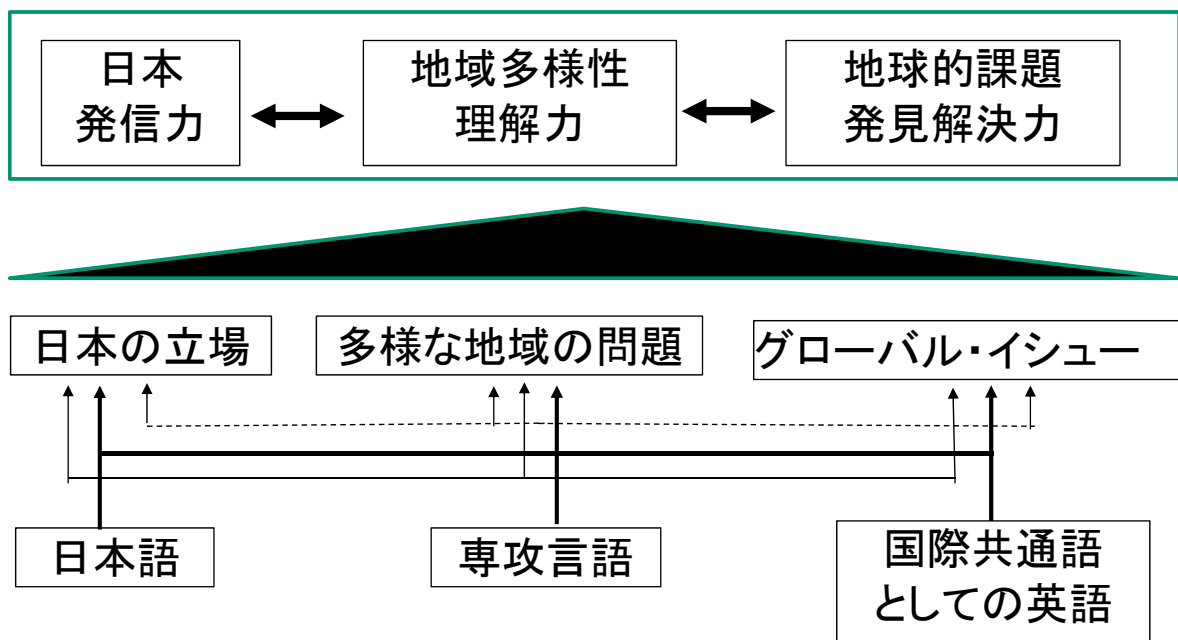
相手の意図や考えを的確に理解し、自らの考えに理由や根拠を付け加えて、論理的に説明したり、議論の中で反論したり相手を説得したりできる能力  
(言語力の育成)

# 上智大学の取り組み

キャンパスのグローバル化  
(留学生と日本人学生が一緒に学ぶ)

外国語(特に英語)教育の改革

## 3言語X3視座による複合的 グローバル・コンペテンシーの育成



## 日本人の学生と留学生が 一緒に学び合えるプログラムづくり

### 英語による学位取得プログラムの増設

国際教養学部  
グローバル・スタディーズ研究科  
外国語学研究科言語学専攻TESOLプログラム

理工学部  
理工学研究科  
グリーン・サイエンス  
グリーン・テクノロジー  
地球環境学研究科

今後

経済学科・経営学科  
新聞学科

### 言語教育研究センター（CLER） カリキュラム ポリシー

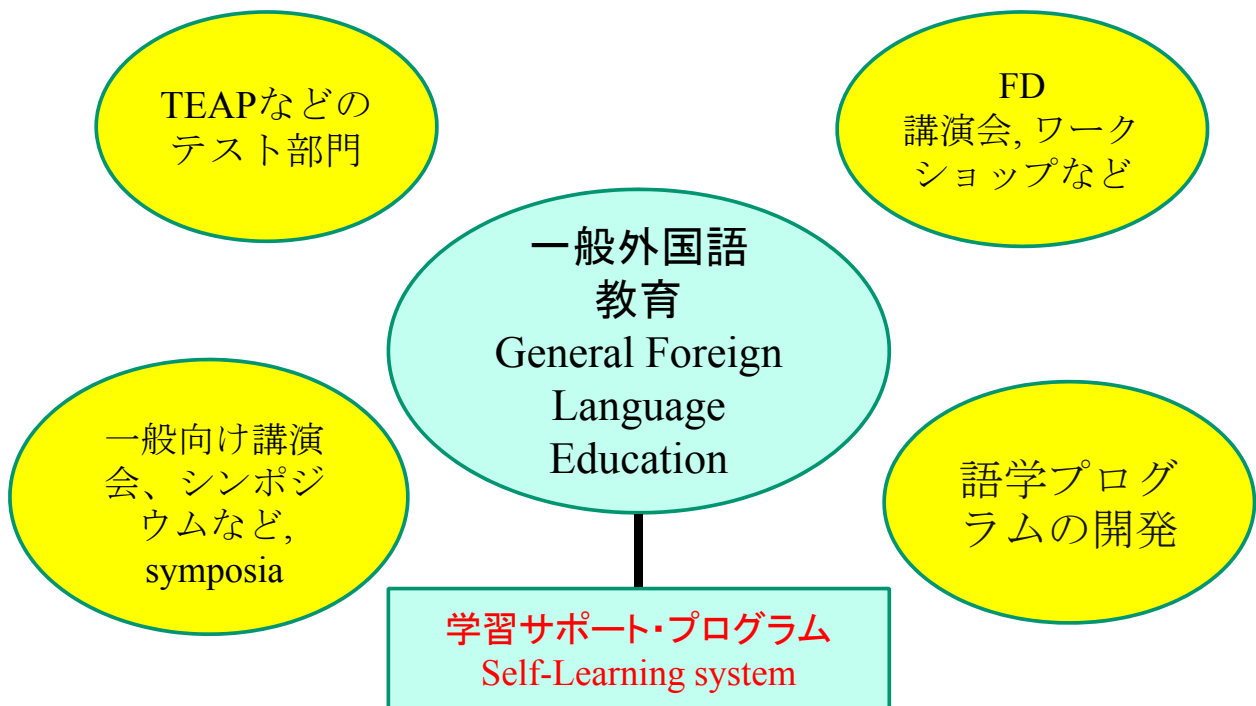
21世紀を迎えてグローバル化が進み、世界の環境は様変わりし、社会がさまざまな言語や文化的背景をもった人びとで作られているという視点が重要になってきている。世界には数千とも言われる言語が存在し、多種多様な文化が、世界の隅々にまで息づいている。そのために、このような複雑で多様な現実と直に向き合って適切に関わり、その状況に力強く、それでいて、柔軟に対応できる有為な人材の恒久的な育成が求められている。多様性を持った内容豊かな外国語教育こそが今の時代と社会に相応しい人材を創り出して行くために必要なのである。

上智大学言語教育研究センターでは、このようなグローバル化、多様化の進む世界の中で活躍していくために必要な様々な外国語の運用能力を学生に身につけさせるとともに、グローバル化する大学教育において、外国語を使って自らの考えを論理的に構成し、発表し、更に議論できる素地を育成することを目的としている。

# CLER設置の目的

- 語学教育の質的充実 Improvement of foreign language education
- 基本理念 Basic Principle
  - アカデミック語学力の育成  
Cultivation of Academic language abilities
- 目標
  - 複言語主義 Plurilingualism

## CLERの全体像



# 英語教育の改革

必修単位を4単位に削減

CLILの導入

## カリキュラムの特徴

- 入学から卒業後までを見据えた体系的かつ段階的なカリキュラム編成
- CLIL(内容言語統合型学習)による最先端かつ国際基準の必修科目
  - \*\*各学科に対して、専門分野の入門科目をCLILとして英語で提供するよう依頼 (学科科目として外国語を導入依頼)
- 学生および社会の多様な英語ニーズに応える豊富な選択科目群
- 英語習得の意欲が高い学生を伸ばす自由度の高い履修形式
  - \*\*全学共通科目として8単位まで外国語履修可能
- 原理に基づくカリキュラム設計、教員研修、プログラム評価

# カリキュラム 全体像

1年次：英語で学び考える academic bilingualism の習得

Academic Communication I  
(English for Academic Purposes)

Academic Communication II  
(Content & Language Integrated Learning)

文献の読み方  
論文の書き方

議論の方法  
調査の方法

知識の活用  
批判的思考

共同学習  
国際的視点

2～4年次：英語で専門性を高める specific plurilingual 能力の習得

Academic English 科目

Professional English 科目

Practical English 科目

History  
Economics

Psychology  
Law

通訳英語  
金融英語

報道英語  
法廷英語

口頭発表  
会議  
Eメール  
TOEIC

卒業後：英語で課題を達成する global English competence の活用

就 職

進 学

企画する  
提案する

協働する  
解決する

知識を磨く  
技能を磨く

調査をする  
実験をする

# 学習サポート体制

授業学習  
必修科目  
選択科目

学習支援  
LLC  
Eラーニング

学習成果  
TEAP  
英語履修カルテ



言語学習センター  
Language Learning Center

Writing  
tutor system

Language  
tutor system

Language  
learning  
advisor system



学習成果の評価



(財)日本英語検定協会、上智大学との業務提携による

「アカデミック英語能力判定試験」 (TEAP)  
<http://www.eiken.or.jp/teap/>

The characteristics and merits of TEAP

Meant basically for third year high school students, TEAP is recreated under the assumption that it will be used for university entrance examinations. The contents of the test are created to the kind of English proficiency required to cope with English-taught curricula in universities. The range basically covers proficiency levels covered by STEP Pre-level 2 to Pre-level 1.

Measures all four skills ‘reading’, ‘listening’, ‘speaking’ and ‘writing’.

入学から卒業までの学習の流れ

入学基準

TEAP (アカデミック英語能力判定試験)



Placement Test

TEAP



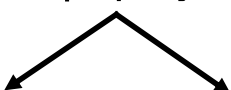
各段階での評価

CLIL

TEAP



卒業時



留学  
 IELTS/TOEFL/英検

就職  
 TOEIC/BULATS/英検

## References

Anderson, L. W. and David R. Krathwohl, D. R., et al (Eds.) (2001) A Taxonomy for Learning, Teaching, and Assessing: A Revision of Bloom's Taxonomy of Educational Objectives. Allyn & Bacon. Boston, MA

TEAP <http://www.eiken.or.jp/teap/>

「国際共通語として英語力向上のための5つの提言と具体的施策」(平成23年7月13日)

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/shotou/082/houkoku/1308375.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/082/houkoku/1308375.htm)

日本英語検定協会 CAN-DO Criteria based on STEP Levels

<http://www.eiken.or.jp/about/cando/cando.html>

文部科学省(2011)「グローバル人材育成推進会議審議のまとめ」

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/global/1206011matome.pdf>

文部科学省(2011)「日本再生のための戦略に向けて」

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000001ngpw-att/2r9852000001ngxy.pdf>